

『“糖鎖”を血液で調べるだけで、肝臓線維化の程度、 肝がん発生の危険性が分かる！』

肝臓川柳 『発癌の 予測に糖鎖は 良いとさ』



(良いとさ…とさ…とうさ…糖鎖)

.....ノノノノノ

“糖鎖”とは、

核酸・蛋白質とならぶ第3の生命鎖と呼ばれている重要なもので、

蛋白を羽織っている衣服のような存在です。

最近大変注目されており、糖鎖は病態の変化や疾患の違いや進行により変化し、

疾患バイオマーカーとして有用とされています。

その中で開発された、

分泌性糖蛋白 M2BP とレクチン WFA を組み合わせた WFA-M2BP を、

シメックス社の全自動免疫測定装置 HSCL-5000 で測定出来る系にしたのが M2BPGi です。

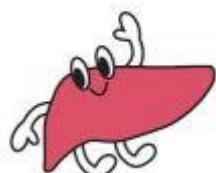
保険収載もされ、コマーシャルに測定可能です。

M2BPGi は肝の線維化マーカーとして、

特に肝硬変の有りなしを区別するのに有用であり、発癌の予測にも有用です。

ファイブロスキャンの肝硬度 (FS) と M2BPG1 に強い相関があります。

ファイブロスキャンとともに非侵襲的な簡単な安全な検査として、急速に広まっています。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

糖鎖は病態の変化や疾患の違いや進行により変化する為疾患バイオマーカーとして有用肝臓に
関しては線維化マーカーとして肝硬変の有無を区別する為には有用で発がんの予想にも有用と言
われている簡単で安全な検査として急速に広まっている

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)